

取組みのカテゴリ

安全パトロール

KYT

企業情報

所在地：東京都
従業員：27,238名

背景

当社は企業や病院・高齢者施設、学校、スポーツ施設などで飲食を提供する業務であるため、施設ごとに労働環境や危険な場所が大きく異なります。また、人財の高齢化もあり、各施設に応じた労働安全対策が求められています。当社では、これまで労働災害発生後の再発防止に注力してきましたが、思ったような効果が認められなかったため、新たに労働災害発生を予防するための取組を実施しました。

取組内容

1. 【危険を発見し災害を予防するための安全パトロール】

- 安全衛生スーパーバイザーによる安全パトロールを定期的を実施し、各事業所の食品・労働安全の状況確認と指導を行っています。安全パトロールによって発見されたリスクと実施された予防策は、WEBシステムによって全事業所が閲覧できます。他の事業所の事例を共有することで災害予防の意識向上に繋がっています。



2. 【職場に潜む危険を把握するためのKYT】

- 職場で「やってはいけないこと」を自ら考えて身に付けることが重要です。職場に潜む危険な箇所や状況を把握するために、ハザードマップを作成し、危険予知トレーニング(KYT)を実施しています。入社時から繰り返し行い、継続することで、従業員は災害防止には安全な作業方法(手順)が重要であることを学びます。



安全の成果

- 危険な箇所をノンスリップテープなどで表示することで【見える化】を行い、視覚的に危険箇所を知らせることで、従業員はその場所で安全行動をとるようになり、意識の変化が生まれています。
- 危険予知トレーニングを行うようになってからは、従業員の安全意識が高まるだけでなく、各事業所が主体的に危険箇所を共有し、危険作業の見直しに取り組むようになるという好循環が生まれています。

副次的効果

- 安全パトロールや5Sの活動が定着することで、モノを探すなどの手間の削減や正しい手順で作業を行えるようになり、結果として異物混入の件数は減少し、食の安全にも繋がっています。

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。